

## Ⅱ. 平成29年度 サンガーデン府中 事業計画

### 中期事業計画

#### 10ヵ年基本方針

地域住民の期待に応え、地域住民から頼りとされる施設をめざす。

#### 中期ビジョン

地域の医療・介護の期待に対応でき、利用者の期待に応えられる老健施設をめざす。

#### 中期戦略

今後増加が見込まれる高齢社会を見据え、高齢者の介護サービス、生活支援サービス、家族の介護支援、要支援高齢者に対する介護予防など、高齢者並びにその家族の介護生活に関して利用・相談できる一体的・連続的に提供できる施設を構築する。

施設はより開放的にし、スタッフは各地域に出向き、介護予防を積極的に取り組み在宅生活での自立支援や、地域生活で援助を必要とする高齢者の在宅サービスを展開し、医療と介護の連携をはかりながら質の高い介護サービスを提供する。

### 平成29年度 事業計画

#### 1. 平成29年度基本戦略

地域に根ざした施設を意識し、在宅復帰施設、在宅生活支援を多方面から支援できる体制づくりを強化していく。全職員が、強いチームワークのもと、リハビリテーション機能を中核として、在宅サービスの機能強化をはかり、地域に必要とする上質な介護サービスを提供する。

また、地域、行政、関連機関との連携を密に、地域介護の中心的役割を果たす。

## 2. 重点活動事項

### (1) 利用者獲得

#### ア) 入所（短期入所含む）

- ・利用率 98%（1 日平均延数 118 人）以上を安定的に維持するために長期入所者数を常時 90 人/日確保する。
- ・新規利用者（長期・短期含む）を 5 件/月確保する。
- ・府中病院の退院支援調整ラウンドに 2 回/月同行、近隣病院(和泉市立病院・岸和田徳洲会病院・その他回復期リハビリテーション病院など)や介護施設、開業医へ訪問し、顔の見える関係を構築し連携を深める。（目標 5 件/月）
- ・胃瘻、吸引、酸素など医療ニーズの高いパートナーを制限無しで受け入れる。
- ・誤嚥性肺炎、尿路感染、帯状疱疹が疑われる場合は施設でできる治療を行い入院数を減らす。
- ・短期入所者の登録者数を 10%増やす。（目標 330 件）
- ・居宅介護支援事業所へ空床状況を郵送する。（1 回/月）
- ・援護部と相談課が協働して、各階でのベッドコントロールと入退所管理を強化する。

#### イ) 通所リハビリテーション

- ・登録者数 300 名を目指し、利用者パートナー数平均 88 人/日以上をめざす。
- ・新規パートナー獲得のため、10 件/月以上の体験利用者を受け入れする。
- ・リハマネ加算Ⅱの算定による早期の目標達成と他サービスへの移行等の社会参加支援を行い、平成 30 年度の介護報酬改定時期に合わせ社会支援参加加算の取得を目指す。
- ・要支援者に対する個別リハビリを集団体操・自主トレへ移行する。
- ・リハビリニーズのみのパートナーや外来リハビリテーション終了者などの移行先として、短時間サービスの受け入れを継続して行う。（目標 15 名/日）
- ・低周波治療器(IVES)を導入し、軽度上肢・手指の麻痺を改善し、両手動作を促通し、上質な ADL・APDL を再獲得する。
- ・集客に繋がるアメニティの整備と地域の中核的なりハビリテーションセンターとしての機能がはかれるような改築計画を準備

する。

短期集中リハビリ	目標 100 回/月
認知症短期集中リハビリ I	目標 3 件/月
リハマネ加算 II	目標 20 件/月
生活行為向上マネジメント加算	目標 1 件/月

ウ) 広報活動を積極的に展開する。

- ・介護フェスタを開催する。(6月)
- ・ホームページを見直し、施設の魅力を最大限にアピールする。
- ・認知症サポーター養成講座を開催し、認知症予防啓発活動を推進する。
- ・新規事業所や新たに着任されているケアマネージャーを対象に施設見学会を開催する。(1回/年)

## (2) サービス

ア) 多職種間の連携を強化しチームケアの充実をはかるために、PDCAサイクルを回していく。

- ・ミールラウンド(2回/週)、口腔ケアラウンド(1回/週)
- ・各委員会活動やプロジェクト活動の成果と体制を評価し、よりよいケアサービスに繋げる。
- ・褥瘡委員会を単独で設置し、褥瘡予防の仕組みを強化する。

イ) 家族同士の意見交換やスタッフとの交流の機会(2回/年)をもち、ニーズに応じたケアを取り入れていく。

ウ) 在宅生活を最後まで継続できるようによりよい看取りに取り組む。

エ) 在宅復帰支援機能を強化するための業務の見直しを行い、ケア提供のスケジュールや取り組みを根本から見直し、PDCAサイクルを回す。

オ) 複雑化する支援ニーズや福祉に関する需要(支援ニーズ)の質的な増大に対する管理体制を強化する。

カ) 安全管理体制の充実

- ・インシデントの分析を徹底して、情報共有をはかると共に危険予知能力を高める。
- ・個々に応じた食事形態や介助方法を行うとともに口腔ケアを徹底し、誤嚥性肺炎の予防を行う。

キ) 感染管理体制の充実

- ・感染委員会の機能を強化し、定期的な感染ラウンドを実施する。
- ・10月から12月にかけての周辺施設や和泉市感染情報から面会制限含む施設対応を早期に実施する。
- ・通所リハビリテーションも含めた感染管理を徹底する。
- ・全職員を対象とした感染予防研修を開催する。(2回/年)

### (3) コスト

- ア) 既存加算を確実に取得し、新設加算の取得に向けて算定要件の整備を継続して実施する。
- イ) 消耗品の在庫管理の適正化をはかり5%以上のコスト削減に努める。
- ウ) 勤務時間のメリハリをつけるとともに職員間で協力して超過勤務5%の削減に努める。
- エ) 情報の共有化ツールを見直し、業務の効率化をはかる。

### (4) 組織人材

- ア) 業務量に応じた施設内配置転換を行い適材適所の配置を推進する。
- イ) 健康で働きやすい職場環境を維持し、離職防止に努める。
- ウ) 法人共有の介護、看護キャリアパスに則り、施設内教育体制を整える。
- エ) 療養棟管理や通所管理における管理研修を企画運営する。
- オ) 介護管理マネジメント基準とマニュアルを作成する。
- カ) 介護支援専門員4名の合格に向けて支援する。
- キ) 認知症ケアチーム結成に向けて認知症ケア専門士1名、認知症実践者研修2名、認知症実践者リーダー研修1名の資格取得を支援する。
- ク) 外部研修の参加と学会発表を推進する。
- ケ) 全老健主催の実施研修施設として、外部研修の開催。
  - ・実施研修専門実技習得コース リハビリテーション、摂食・嚥下
  - ・実施研修専門実技習得コース 在宅復帰・在宅支援
  - ・実施研修専門実技習得コース 終末期ケア(ターミナルケア)
- コ) 積極的な学生実習受け入れを行う。
- サ) 専門能力の高い人材が、その能力に見合ったより専門的な業務に集中できるように業務整理し、無資格者やシルバー人材の雇用を促進し、業務分担を明確にする。
- シ) 更なるシルバー人材の活用の検討と現在の業務における評価と継

続体制づくりを行う。

### 3. 各居宅サービスの具体的目標

#### (1) サンガーデンヘルパーステーション施策

- ア) 利用者数 170 名/月、訪問件数 2100 件以上/月を目標とし、職員の資格取得支援や重度介護者 20%以上を受け入れ特別事業所加算 I の維持に努める。
- イ) 法人外の居宅介護支援事業所等にも喀痰吸引・胃瘻・看取りケアの対応が出来る事業所であることをホームページでの広報と事業所訪問での説明で新規獲得に努める。(目標新規利用者 7 名/月)
- ウ) 医療ニーズや認知症ケア、看取りに対応出来るよう内外部の研修会に積極的に参加し、専門性の向上や多職種と連携しながら良質なサービスを提供し在宅生活を支援する。

#### (2) 訪問リハビリテーション施策

- ア) 病院の回復期リハビリテーション病棟と連携し、継続したサービスの提供を行う。
- イ) 法人内外の訪問看護、訪問介護、通所リハビリとの連携を充実させる。
- ウ) 空き状況を法人内外の居宅介護支援事業所に報告し利用者獲得に努める(1 回/月)
- エ) 状態が安定すれば通所リハビリテーションやショートステイにも誘導し社会参加を促す。
- オ) ご家族のレスパイトケアを支援し、在宅生活の継続を支える。

#### (3) サンガーデンいきいきネット相談支援センターの活動目標

和泉市地域福祉総合相談員配置推進事業実施要綱に基づき、生活圏域の身近な地域において、高齢者・障がい者・子育てなど、さまざまな分野で福祉の総合相談窓口として支援を要する地域住民に対するニーズ相談、見守り、サービスへのつなぎ、心のケアなどをもって個別支援を行う。

すべての人が安心していきいきと暮らせるよう地域福祉の向上と自立生活支援のための基盤づくりを行い、地域の健康福祉セーフティーネットの構

